

しおがま 市議会だより

令和 7 年 9 月定例会号

●正副議長あいさつ 等	P2
●議案審査の概要	P3
●令和 6 年度決算審査	P4
●討論	P5
●議会中継について	P6
●市政に対する一般質問	P7～10
●所管事務調査報告 等	P10～11
●議案等賛否一覧表 等	P12

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Nov.2025 (令和 7 年 11 月)
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>



【塩竈市議会ホームページ】
市議会の情報は市議会HPで
ご覧になれます。



8月にオープンしたフォレストアドベンチャー・塩竈（伊保石公園内）

定例会会議日程

本会議	9月 5日	会期の決定、諸般の報告、民生常任委員会所管事務調査報告、産業建設常任委員会所管事務調査中間報告、正副議長選挙、各常任委員会及び議会運営委員会委員の選任、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件審議及び採決
	9月 9日	令和 6 年度決算特別委員会
	9月 10日	総務教育常任委員会
委員会	9月 11日	民生常任委員会
	9月 12日	産業建設常任委員会
	9月 16日	令和 6 年度決算特別委員会
本議案委員会	9月 17日	令和 6 年度決算特別委員会
	9月 18日	令和 6 年度決算特別委員会
	9月 19日	市政に対する一般質問
本会議	9月 22日	市政に対する一般質問
	9月 24日	議会運営委員会
	9月 25日	各常任委員会委員長報告・討論及び採決、令和 6 年度決算特別委員会委員長報告・討論及び採決、請願審査及び採決、宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙、議員提出議案審議及び採決

令和 7 年 9 月定例会は、9 月 5 日から 25 日までの 21 日間の会期で開催しました。本会議初日は、民生常任委員会所管事務調査報告、産業建設常任委員会所管事務調査中間報告、正副議長選挙および各常任委員会・議会運営委員会の委員の選任を行いました。その後、市長より提出議案の説明を受け、令和 6 年度決算を決算特別委員会に付託し、その他の議案は、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。さらに人事案件 2 件を審議し同意しました。休会中には、各常任委員会、令和 6 年度決算特別委員会を開催し、付託した議案審査を行いました。

本会議 2・3 日目は、6 名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をいただきました。

最終日は、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、議案 9 件を可決しました。また、決算特別委員会委員長から審査結果の報告を受け、決算および関連議案 4 件を可決および認定した後、請願 1 件を採択しました。さらに、議員提出議案 1 件を即日審議の上可決し、閉会しました。

（議案の件名と審議結果は 12 ページ）

定例会のあらまし

議長に 浅野 敏江 が就任
副議長に 今野 恭一

議長・副議長の選挙が行われました

本定例会において、議長・副議長から辞意が示されたことから、議会は辞職を許可し、それぞれ選挙を行いました。

選挙の結果、新議長には浅野敏江議員を、新副議長には今野恭一議員を選出しました。

令和9年9月任期満了までの2年間務めることとなります。

就任のごあいさつ



議長 浅野 敏江



副議長 今野 恭一

この度、議長並びに副議長の任を拝命いたしました。市政課題に真摯に向き合い、責務を果たす所存です。

校をはじめとした公共施設の老朽化等、多くの課題に直面しています。

市民生活の安定と将来を見据えた持続可能なまちづくりを執行機関との緊張感のある連携の下で着実に進めるとともに、公正・透明な運営に徹してまいりたいと考えております。

市民の負託を受けた合議制の代表機関として、多様な声を受け止めながら、熟議と監視を通じて市政の質を高めてまいります。

本市は、人口減少・少子

高齢化、地域経済の停滞、防災・減災、市役所や小中学

今後とも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

各委員会構成

常任委員会および議会運営委員会の委員の改選に伴い、9月定例会で新たな委員を次の通り選出しました。

総務教育常任委員会

主な所管事項

市の総合計画、財政、教育等に関すること。

委員長 佐藤 公男
副委員長 桑原 成典
委員 浅野 敏江
委員 西村 勝男
委員 鎌田 礼二
委員 小高 洋

産業建設常任委員会

主な所管事項

産業、港湾、都市計画、上下水道等に関すること。

委員長 小野 幸男
副委員長 志賀 勝
委員 柏 惠美子
委員 今野 恭一
委員 伊勢 由典
委員 土見 大介

民生常任委員会

主な所管事項

市税、環境衛生、社会福祉、医療保健等に関すること。

委員長 志子田 吉晃
副委員長 鈴木 新一
委員 菅原 善幸
委員 鈴木 悦代
委員 辻畑 めぐみ
委員 伊藤 博章

議会運営委員会

主な所管事項

議会の運営、会議規則、委員会条例等に関すること。

委員長 鎌田 礼二
副委員長 土見 大介
委員 佐藤 公男
委員 菅原 善幸
委員 柏 惠美子
委員 小高 洋

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員について

9月25日の本会議において、宮城県後期高齢者医療広域連合議会の議員選挙が行われ、小野幸男議員が選任されました。

請願

○可決したもの

◆国に対する「刑事訴訟法の再審規定(再審法)」の改正を求める意見書の提出を求める請願

意見書

○可決したもの

◆刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

常任委員会

傍聴のお知らせ

常任委員会は、申込み手続きを行うことにより傍聴することができま

す。受付は、常任委員会開会時刻の1時間前から30分前まで、議会事務局にて行います。

なお、傍聴できる人数は、原則として先着7人までとなっております。

**1億9075万1千円
の増額補正予算を可決**

9月定例会における一般・特別・企業会計の補正予算は合計1億9075万1千円で、補正後の予算総額は555億5648万円となりました。主な事業は次のとおりです。

一般会計

【補正額】

1億5808万8千円

町内会等コミュニティ強化支援事業

【補正額】 1669万2千円

市内町内会・自治会に10万円を上限として助成金を交付。

ひとり親世帯等おこめ配布事業

【補正額】 254万6千円

ひとり親世帯等へ1世帯当たり5キログラムのお米を配布。

高齢者世帯生活支援事業

【補正額】 2732万円

高齢者世帯に1世帯あたり5千円分のギフトカードを配布。

グラウンド管理費

【補正額】 6203万4千円

市内スポーツ広場の環境整備。

など

特別会計

【補正額】 2166万3千円

○国民健康保険事業

(補正額574万2千円)

○後期高齢者医療事業

(補正額1362万6千円)

令和8年度から賦課・徴収を開始する「子ども・子育て支援金」に必要なシステム改修(国保・後期高齢)および前年度保険料等の繰越清算(後期高齢のみ)。

など

企業会計

【補正額】 1100万円

○下水道事業

(補正額1100万円)

埼玉県八潮市の陥没事故を受け、令和6年度以前に設置された口径2m以上の下水管の老朽化状況を調査するもの。

条例改正 2件



清水沢近隣公園スポーツ広場野球場

常任委員長

報告

9月定例会において、議案9件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 佐藤 公男

◎議案第45号および第47号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

【一般会計補正予算要望意見】

○沓番館区分所有建物の取得は、取得したスペースを民間の力を借り、にぎわい創出に活用できないか検討しているとのことだが、民間の方々が使いやすいものとされたい。

○避難誘導LEDビジョンの整備は、災害発生時には災害情報や避難誘導、通常時には市からのお知らせや民間広告等を放映する大型映像機器を設置し停電時でも24時間稼働

可能とのことだが、自動車運転者の目線が移動することによる危険性や避難誘導の在り方について、今後、運用を含めて検証が必要である。

○浦戸小中学校給食調理の委託にあたっては、調理員の雇用継続に、十分配慮されたい。



民生常任委員会

委員長 志子田 吉晃

◎議案第47号ないし第50号および第53号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

【一般会計補正予算要望意見】

○町内会等コミュニティ強化支援事業は、町内会等すべての交付対象者が助成金を申請し活用できるよう迅速に対応するとともに、丁寧な支援と分かりやすい周知に努められたい。また、町内会等は高齢化や担い手不足などそれぞれに多様な課題を抱えている。単に助成金の交付にとどまらず、NPO等の支援団体の活用を含め、町内会が抱える根本的な課題の解決につながる取組を進められたい。

○高齢者世帯生活支援事業は、配布するギフトカードについて、高齢者が使用する際に分

かりやすく、日用品等必要とするあらゆるものが購入可能なものとされたい。



産業建設常任委員会

委員長 小野 幸男

◎議案第46号・第47号・第51号および第52号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

【一般会計補正予算要望意見】

○地域おこし協力隊活用事業は、離島で暮らしながらの活動となり、他自治体との条件の違いを良さと捉え、魅力を発信し隊員募集の周知に努められたい。また、任期満了後、漁業者として生活するには、浦戸諸島の住宅環境の整備も必要である。空き家情報を収集し任期満了後の生活設計に配慮した支援をされたい。

【下水道事業会計補正予算要望意見】

○大規模下水道管路特別重点調査等事業は、国から下水道管路における全国特別重点調査の要請を受け、点検を行うものであるが、全国的な道路陥没事故の発生を踏まえ、他の管路でも予防的な調査を検討されたい。

令和6年度

一般・特別・企業会計決算を認定

令和6年度一般・特別・企業会計決算審査のために設置した「令和6年度決算特別委員会」は9月9日に開会され、初日に正副委員長互選を行い、委員長に菅原善幸委員、副委員長に志賀勝委員を選出しました。同委員会は4日間にわたる審査の結果、いずれも認定すべきものと決しました。本会議4日目に決算特別委員会委員長報告を受け、採決の結果、各会計の決算が認定されました。監査委員報告および決算特別委員会委員長報告は次のとおりです。

監査委員報告概要

各会計とも適正と認める

一般会計、各特別会計および各公営企業会計の歳入歳出決算の審査の結果、決算書等がいずれも法令に準拠して作成されており、諸帳簿・電算財務会計と照合し、計数も正確である。

また、各会計の予算執行も良好なものと認められた。一般会計の実質収支額は黒字となったが、実質単年度収支額は財政調整基金（市の貯金）からの取崩しを行っており、赤字である。物価高騰等、厳しい状況にあるが、住民福祉の向上や地元経済の活性化に向け

て努力を続けられたい。

下水道事業会計は、黒字で決算された。引き続き、安定した事業運営に努められたい。

病院事業会計は、増収したが支出も増となり、当年度純損失を計上した。厳しい状況だが地域に必要とされる医療を継続するため安定運営に努力されたい。

水道事業会計は、給水人口の減や経費および人件費の増等により純利益の減となった。健全経営を維持し低廉な水の安定供給に努力されたい。

決算特別委員会
委員長報告

▼一般会計

◎令和6年度決算の経常収支比率は、近年増加傾向で高い水準である。他会計への基準外繰出金の削減や基準内繰出金の適用項目の管理を徹底される等歳出の抑制に努め健全な財政運営を行われたい。

◎ふるさと納税は、寄附者に対して報告義務があると捉え、寄附金を活用した事業およびその充当額をホームページ等で公表し実績を知ることができよう周知されたい。

◎子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業は、転入した世帯が定住できるよう、他の事業と組み合わせ複合的な施策を構築し、補助金額の多さだけに依存しない定住促進策を検討されたい。

◎子ども医療費助成事業は、県に対して、対象年齢の引き上げや所得制限の撤廃等を求め、市の負担が軽減されるよう努められたい。

◎子ども家庭センター運営事業の産後ケア事業は、出産前から事業を周知する等、事業

の浸透に一層努められたい。

◎商工振興対策事業のシャッターオープン・賑わい支援事業は、出店準備の負担を抑えた試行的な出店等の取組を含め、事業の名称や対象を見直し、交流人口を増やす施策を検討されたい。

◎門前町活性化事業は、旧宮町庁舎跡地の活用等、早急にまちづくりの全体像を示し、具体的な方向性を提示されるよう努められたい。

◎樹木剪定・伐採委託料、草刈作業委託料は、信号機に樹木がかかり交通事故のリスクがある箇所が見受けられるので、日頃から定期的な点検を実施し適切に管理をされたい。

▼特別会計

◎交通事業特別会計は、市営汽船が浦戸諸島の島民にとって生活道路と同様の役割を担っていることを改めて念頭に置かれたい。利用者増加策は、寄港地である浦戸の魅力向上に加え、乗船そのものが目的となるよう、船内空間の活用やアナウンス、装飾の工夫、さらにイベントの実施等により船に乗ってみたいと思わせる事業周知を目指されたい。

◎魚市場事業特別会計は、魚市場の照明や水道の利用に当



決算特別委員会委員長報告

たつては、関係者が自らの業務として主体的に取り組めるようにするとともに、事故防止の観点からも教育や研修を実施されたい。

▼企業会計

◎下水道事業会計は、今後の地震対策や施設老朽化対策を十分に見据え、着実な運営に当たられたい。

◎市立病院事業会計は、資本金が繰越欠損金を上回るとはいえ危機感を持つて運営に当たられたい。また、引き続き収益確保に努められたい。

さらに、病院経営は、国の医療政策に大きな課題があると認識するが、そのような困難な状況でも地域医療を守る使命と財政課題の解決を両立させ引き続き尽力されたい。

討 論

9月26日の本会議において
討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

議案第47号 令和7年度 一般会計補正予算

反対 桑原成典 議員

補正予算のうち、避難誘導
LEDビジョンの整備に反対
する。

現在、緊急地震速報や津波
警報が携帯電話にアラームと
して発信され、市の防災行政
無線や公式LINEでも十分
な情報を得られるので、わざ
わざ整備する必要はない。

また、今回整備される港町
一丁目の交差点は、通行止め
となった場合に目視できない。
財源には、緊急防災・減災
事業債が活用され、市の負担
額は約600万円であるが、
将来にわたり維持費がかかる。
設置場所が海沿いであり、潮
風による影響も懸念される。

さらに、平常時に放映予定
の民間広告について、広告料
が試算されていない。広告が
どれほど集まるかも不明な状
態で、市の負担額を10年で回
収できるとの説明には納得が

いかない。

本市の財政状況には危機感
を持っている。事業を見直さ
ない限り、市の体制は変わら
ないのではないかと考える。

以上のことから反対とする。

賛成

志子田吉晃 議員

本議案は、物価高騰に直面
するひとり親世帯や高齢者世
帯等を支援するための事業、
地域コミュニティ強化支援事
業等に加え、市民や利用者の
安心安全のための災害情報配
信に係る事業や、スポーツ施
設の改修等、施設の機能維持
に係る事業が予算化されてい
る。このうち、避難誘導LED
ビジョン整備事業に関する
予算に反対を表明されている。
この事業は、災害発生時の
避難誘導の強化を目的に、交
通量の多い沿岸部の交差点に
LEDビジョンを設置し、市
民や観光客等の来訪者に対し
的確かつ迅速な情報発信を行
うものである。

命を守るためには、災害時
の情報伝達により多くの手段
を用いるべきであり、人命を
最優先した提案と評価するも
のである。

以上のことから賛成とする。

議案第48号 令和7年度 国民健康保険事業特別会 計補正予算

議案第50号 令和7年度 後期高齢者医療事業特別 会計補正予算

反対

伊勢由典 議員

今回の補正予算は、「子ど
も・子育て支援金制度」に対
応し、国民健康保険および後
期高齢者医療のシステムを改
修する費用が含まれている。

この制度は、保険料・税に
支援金分が上乗せされ、国民
や企業の負担が増え、国の負
担が減少するものである。

物価高騰で暮らしが厳しい
中で、実施するものではない。
以上のことから反対とする。

賛成

志賀 勝 議員

子ども・子育て支援金は、
法律に基づき全国3376の
各保険者が一斉に取り組むも
のであり、本市も、制度開始
に向け、必要な準備を遅滞な
く進める責務がある。

システム改修には一定の期
間を要し、制度開始後に速や
かに支援を開始するためには、
今のうちから準備を進めるこ
とが不可欠である。

以上のことから賛成とする。

認定第1号 塩竈市一般 会計及び各特別会計決算 の認定について

反対

小高 洋 議員

行財政改革推進計画のもと、
近年、市民負担は増大し続け
ている。また、職員数の削減に
よる現場の疲弊は、行政サー
ビスの低下を招きかねない。

宮城県地方税滞納整理機構
に参加し、負担金等の支出を
しているが、生活実態にそぐ
わない徴収が行われたことが
ある。同機構への参加をやめ、
市が直接対応し、生活実態を
捉え、福祉につながるべきだ。

国民健康保険税のさらなる
引き上げには慎重な検討を求
めると同時に、国庫負担の増額
等、国に対して制度の根本的
な転換を求めるべきである。

介護保険事業は、保険料お
よび利用料金が上がり、給付
の対象は狭まった。介護報酬
改正が影響し、全国的に廃業
する事業者が続出している。

国の責任による公的保険制度
への見直しを求めるべきだ。
後期高齢者医療事業特別会
計は、保険料が引き上げとな
った。受診抑制につながる

特別療養費制度を含め、命に

関わる事態を招く施策は取り
やめるべきである。

以上のことから反対とする。

賛成

鎌田礼二 議員

令和6年度は一般会計にお
いて、歳入は前年度比19%の
増、歳出は前年度比21%の増。
全体的な財政運営は、実質収
支で約9億3千万円の黒字決
算となった。

宮城県地方税滞納整理機構
は、収納率の維持向上に貢献
している。収納率の低下は市
税収入等の減少につながり、
市民サービスの低下を招く恐
れがあるため脱会すべきで
はないと考える。

国民健康保険事業は、低い
税率に抑えることによる不足
分を財政調整基金の繰り入れ
で補い、市民生活に配慮した
運営がなされている。

介護保険事業特別会計は、
歳入において保険料収納率や
収入率が前年度より若干向上
し、黒字決算となった。

後期高齢者医療事業特別会
計は、現行制度における事業
の維持継続に努め、黒字決算
となった。適正な運営がなさ
れていることを評価する。

以上のことから賛成とする。

インターネット・宮城ケーブルテレビで 塩竈市議会中継を放送しています

～インターネットでは過去の録画もご覧いただけます～

インターネット

- ・パソコン
- ・スマートフォン
- ・タブレット端末



Google、Yahoo! などの検索ページで

「塩竈市インターネット中継」をキーワードに検索

← 左記の二次元バーコードでもアクセスできます。

ケーブルテレビ

宮城ケーブルテレビ（マリネット）

[111ch] コミュニティチャンネルで生放送します。

〈インターネット中継・録画放送用ホームページ〉



しおがまし
塩竈市議会
SHIOGAMA CITY ASSEMBLY

インターネット中継
SHIOGAMA CITY ASSEMBLY WEBCAST

[塩竈市ホームページ](#)
[塩竈市議会ホームページ](#)

[トップページ](#)
[会議名で検索する](#)
[議員名で検索する](#)
[会派名で検索する](#)
[用語で検索する](#)

映像配信

生中継

開催中の会議をご覧になれます



録画放送

過去の録画映像をご覧になれます*



会議名で検索する
会議名の一覧から映像を選択します



議員名で検索する
議員名の一覧から映像を選択します



会派名で検索する
議員名の一覧から映像を選択します

用語で検索

*録画放送の対象は平成28年9月定例会以降の本会議、予算特別委員会、決算特別委員会です。

録画放送では平成 28 年 9 月定例会以降の本会議、予算特別委員会、決算特別委員会をご覧いただけます。

本会議の一般質問、施政方針に対する質問については、議員名や会派名でも検索できます。ぜひご覧ください。



市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、9月19日、22日の2日間に6人の議員が行いました。ここでは質問の中から一部を取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。

側溝整備は



塩釜を
元気にする会
柏恵美子

カラー舗装については、毎年、小学校と土木課、警察等で通学路の合同点検パトロールを行い、その際の改善要望に基づき、通学路の新規路線を最優先で整備をしている。側溝をコンクリート製蓋に替える際に併せて整備を検討していきたい。

景観への配慮は

設置管理しているのが現状である。形状も、箱型の構造物や、ネットフェンスを使用する等、各地域の土地の状況に合わせた管理がなされている。門前町の景観への配慮については、今後、宮町や西町等、関係する町内会から集積所の新設や移設等の相談があった場合には、街並みに配慮した構造物や色彩の採用等、協力をお願いしながら進めてまいりたい。

稼げる 自治体像は



塩釜を
元気にする会
土見大介

議員 本市の経済は、基幹産業である水産業・水産加工業の低迷や人口減少、後継者不足等の課題に直面している。市は第6次長期総合計画に基づき産業振興策を展開しているが、その効果を伺いたい。



門前町の街並み（西町）

議員 市道の道路側溝に鉄製の蓋が多く見受けられる。場所によってはひどく劣化している。鉄製蓋が大雨時に水の勢いで持ち上がり、側溝から水があふれだす等、歩行者の安全確保に好ましくない。昨年の9月定例会において、コンクリート製蓋に設置替えすべきと指摘したが、進捗はいかがか。

また、市道の中には、歩道が整備されていないところがあるが、通学する子どもたちの安全対策としてコンクリート蓋の上面を緑色にする等、路側帯部分のカラー舗装を整備されてはどうか。

産業建設部長 側溝全体の整備は、側溝整備事業計画に基づいて計画的に改善を進めている。まずは劣化や損傷、又は、側溝に蓋がついていない等危険な箇所の解消を優先して取り組んでいる。

議員 宮町から西町の道路沿いの景観は、風情があり、門前町にふさわしい街並みである。観光客の散策も多い区間であるが、その景観を損なうような形でごみステーションが設置されている。ごみステーションの設置は、町内会単位で決めているものではあるが、観光客に好印象を持っていたためには、門前町の景観とごみステーションのミスマッチを解消すべきだ。

「塩竈市の景観を守り育てる条例」もあるので、設置場所やデザインについて、町内会と行政が話し合うべきと考えがいかか。

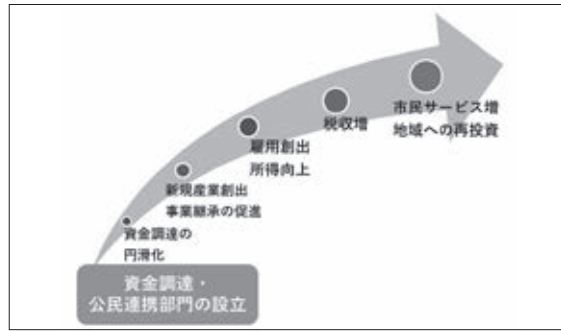
市民生活部長 各ごみステーションについては、町内会で

その他の質問項目

- ・ 防災・減災対策は
- ・ 廃棄物処理は

市長 産業分野における六つの成果指標のうち3項目は目標値に達したが、「塩竈産品販路拡大支援事業による水産品輸出入荷量」は、主な取引先であった香港市場の水産物の輸入停止による影響が大きく、達成水準を大きく下回った。

財政課長 収益力や資金力を増やすことが課題だと考えている。市の組織については、長期総合計画の後期にあたる令和9年度に向け、庁内でも検討を始めるところであり、様々な課題を盛り込みながら進めていければと考えている。



まちのグランドデザインを描き、経済が活性化する構造をつくる

浦戸の再生は

議員 浦戸諸島は非常に高い高齢化率により、地域コミュニティや産業の後継者不足等の深刻な問題に直面しており、島民の生活環境や歴史的・文化的価値を損ないかねない状

況である。さまざまな課題の中でも、地域の担い手確保は喫緊の課題である。行政も人材確保に力を入れているが、思うような成果を上げられていない。人材確保のためには、浦戸に移住される方々が将来展望を描ける環境が必要である。浦戸諸島で活動する各法人と連携しながら早急に環境整備を実施すべきと考えるがいかがか。

総務部長 漁業の後継者不足や、高齢化によるコミュニケーションの減少に対し、地域おこし協力隊による地域協力活動で補っている。現在、協力隊員の人数が目標に達していないので、行政として一層拡充に取り組む。各法人との連携については、一次産業の面では、漁協との関係も踏まえて調整していく必要がある。浦戸には宿泊施設もあり、事業継承を検討している方もいると聞く。宿泊施設の運営等、三次産業の分野も協力隊のメニューに加え、観光面での支援を検討していく。

その他の質問項目

・ みやぎの台所・しおがまの具体的なイメージと達成目標は

市政に対する一般質問



公明党
菅原 善幸

人口減少の対応は

議員 ①人口減少は、全国で744の自治体が消滅可能性都市と指摘される中、本市の将来人口は、令和23年には人口4万2259人に減少すると推計されている。人口増加策として、自治体だけでなく、企業や住民も含め、人口減少や少子高齢化の危機感を共有し、官民全体で取り組み、従来の発想にとらわれない実効性のある政策が不可欠である。中でも企業誘致が重要であると思うが、見解を伺う。

②また、人口減少対策は非常に重要であり、本市でも移住・定住を含め、全ての人口増加策を所管する専門部署の設置が必要と考えるが設置について伺いたい。

総務部長 ①本市では、様々な分野において官民連携の協定を約20団体と結んでおり、民間の力を借り交流人口を上げる取組を行っている。民間

のノウハウも活用しながら双方で人口減少を止められるような取組を進めてまいりたい。

②本年4月に秘書広報課内にシティプロモーション係を設置し移住・定住の事業等を集約した。専門部署は他自治体の事例を参考に組織改編の中で検討してまいりたい。

空き家にならないための対策は

議員 これまでの空き家対策は、すでに発生した空き家への対応が中心だった。今後は、空き家にさせない発生抑制が必要とされる。住まいの終活とは、持ち家を持つ高齢者が元気なうちに、住宅の売却や賃貸、相続、住み替え等を計画的に検討して、空き家化を未然に防ぐという考え方である。元気なうちから、自宅の将来を考え、家族と話し合うための環境づくり、発生抑制となり得る住まいの終活支援が不可欠で重要と捉えている。

本市の空き家の件数、空き家にならないための取組や相談窓口について伺いたい。

総務部長 昨年の4月から市民課総務係に空き家問題を総

合的に推進するための案内窓口を設置している。

空き家の発生抑制には、生前から空き家の売却や利活用等準備が重要とされるが、相続や権利関係等の相談は、専門知識が必要とされ、自治体だけでは対応が困難な場合がある。

現在、民間の方々と連携して対応する取組を検討している。

政策課長 実態調査の結果では、本市の空き家は880戸である。



管理不全空き家（イメージ）

その他の質問項目

・ 庁舎については
・ 地域コミュニティは



かいしん
鈴木新一

可燃物処理 施設は

議員 市は、「今後のごみ処理については多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町で構成する宮城東部衛生処理組合に加盟を認めていただき、共同処理を行いたい」との意思を正式に表明した。共同処理は仮に加盟が認められた場合でも十五年後の実施が想定され、それまで現状の施設の維持費を抑制しながら延命化を図る必要がある、併せて市民にごみ減量の理解について協力をお願いする必要がある。

①組合加入への課題は。②現在のごみ処理施設延命化の課題は。③ごみの運搬が困難な高齢者や障がい者世帯からの戸別収集を行ってはいかがが。市長 ①正式な加入については今後協議を重ねて行きながら課題の整理を行う。まずは、本市の組合加入を認めていただけ、宮城東部衛生処理組合との協議を進めたい。

市民生活部長 ②まず、重要設備を重点的に改修し、その後、段階的に維持修繕工事が必要と考えている。

③本市においても急速な高齢化が進んでおり、重要な課題であると認識している。先進事例を研究しながら財政面も踏まえて検討していく。



民生常任委員会による清掃工場の視察

公共施設 グラウンド管理は

議員 市内には公共施設グラウンドとして、清水沢近隣公園スポーツ広場や二又スポーツ広場、新浜町公園スポーツ広場等があり、春先に行われ

るグラウンド利用者調整会議において年間スケジュールが確定するが、草刈の年間スケジュールが決められていないため、利用者自身が大変苦勞しながら草刈を行った実態がある。第何週の何曜日の何時から草刈り作業を行うことを決めた年間スケジュールを来年度から利用団体と一緒に設定できないか。

教育部長 利用団体自らがグラウンドの草刈を実施していただいたことについて心から感謝申し上げる。非常に早く雑草が生えてしまい、利用者が気持ちよく使える環境を維持できなかったことについては、教育委員会として大いに反省している。現在、グラウンドの点検とごみ拾いについては週1回、草刈については年間2回委託業者が実施し、そのほかの時期は職員が対応している。利用者のご意見を伺い、すり合わせをしながら、来年に向けて実のある草刈計画を作成できるよう、努力してまいりたい。

その他の質問項目

- ・ごみの発生抑制は
- ・地域コミュニティ活性化は
- ・子育て支援事業は など



日本共産党
塩竈市議団
伊勢由典

トランプ大統領の 関税政策の影響は

議員 アメリカのトランプ大統領は、4月2日に日本製品に対する税率を25%とする関税計画を発表したが、これは第二次世界大戦後の国際貿易秩序の転換と言える。9月5日に日米両国政府の貿易に関する文書が発表されたが、日本の輸出品に対する関税を基本的に15%とすることや、日本のアメリカ製品の輸入拡大、82兆円規模の対米投資を行うといった内容であり、日本の製造業の空洞化が進むものである。①いわゆるトランプ関税が宮城県や本市に及ぼす影響は。②国や関係機関への要望活動は。

市長 県内の自動車産業は国内販売が主であり、大きな影響は確認されていないとのことである。6月に実施した市内事業者への調査においても約9割の事業者が影響を10%未満と回答しており影響は限

定的と評価しているが、今後の経済動向を注視していく必要がある。

産業建設部長 ②東北市長会として経済対策を国に要望している。食料品輸出にも関税が新たに課せられることについて懸念しており、今後の影響の把握に努める。

小中学校への エアコン設置は

議員 文部科学省は2024年度の補正予算で空調設備の臨時特例交付金を創設し、学校体育館にエアコン設置を進めようとしている。また、2



学校体育館の例（玉川中学校）

市政に対する一般質問



市民クラブ
志子田吉晃

塩竈市の新型コロナウイルス ワクチン接種事業は

025年、公立小中学校の空調設備に係る普通交付税措置も含めると報じられている。文部科学省では、空調設備を今後10年で、90数%に引き上げていく目標値も示しているようだが、本市の体育館等の空調設備に使えるのかお尋ねしたい。防災上、体育館は、エアコンがなければ避難者にとって非常に苦しいことになるので、有利な国の制度を活用し、運用を丁寧にしていただきたいが、見解を伺う。

教育部長 議員ご指摘のとおり国の臨時特例交付金制度は大変有利な財源であり、本市でも活用可能である。これまでに学校体育館への空調機器の設置は大規模改修に合わせて行うこととしてきたが、今回の交付金制度を踏まえ改めて検討を進める。

その他の質問項目
・防災と水道管の耐震化は
・教員の処遇改善は
・学校給食の無償化は など

議員 9月18日に一般社団法人ワクチン問題研究会から、MRNAワクチンの承認取り消しと市場からの回収を求める意見書が厚生労働省に提出された。また、副反応の疑いのある2295件の死亡症例が報告されている。①これまでのワクチン接種事業について総括されたい。②接種事業における健康被害相談は。③令和7年度の接種事業の内容は。④接種事業の効果は。

市長 ①厚生労働省の報告では、入院や死亡等の重症化予防効果が認められている。なお、感染による本市での死者数は未公表のため把握できないが、宮城県内では1333人となっている。

福祉こども未来部長 ②市内では現在まで100件を超える相談を受け付けており、内容は発熱や痛み等の副反応や

受診目安、救済制度である。③国の補助が無くなったので、市が費用を補助する。自己負担額は8千円程度の見込みで準備を進めている。④直近の厚生労働省の発表では、60歳以上の方の入院予防効果が63・2%、65歳以上の方の発症予防効果が52・5%あったことである。

塩竈市における 救急搬送は

議員 毎日のように救急車のサイレンが聞こえ、救急出動が増えているように感じるが、次の3点について伺う。①過去10年間の救急出動の推移は。②過去10年間の不審死や孤独死についての実態は。③孤独・孤立対策推進法が制定されたが、本市での高齢者の孤立死・孤独死への対応については。

市長 ③本市で75歳以上のお独り暮らしは2400世帯を超えている。自宅で倒れたときに発見されるまでに時間がかかる。現在も見守り支援として安否確認のための機器設置費用の助成を行っているが、さらに高齢者の皆様に安価で

使いやすい機材の提供が出来ないか市役所内で議論を深めている。

福祉こども未来部長 ②孤独死に関する具体的な数値は把握していないが、体感的には増えていると感じている。

危機管理課長 ①ここ10年間で約16・8%増加している。特にここ数年は増加傾向で熱中症による出動の増加も要因となっている。②不審死(救急隊到着時に明らかな死亡のため不搬送となった傷病者)は年平均約40数件となっている。



本市の救急搬送を主に担う塩釜消防署の救急車

民生常任委員会 所管事務調査報告

民生常任委員長から廃棄物処理施設の現状と今後について所管事務調査報告が行われ、4力所ある全ての廃棄物処理施設の現地視察や市から提出を受けた資料および質疑を通じて得られた現状や課題点を報告し、次の4点についての意見要望が出されました。

○広域加入が実現した場合の想定時期である令和22年度を一つの目安としつつも、各処理施設では、建物、機械設備の老朽化が進んでいる。廃棄物処理施設は、市民の安全・安心で衛生的な生活を支える不可欠な公共インフラであるため、施設ごとに必要な修繕・改修を早急に取り組まなければならない。○延命化の前提として、ごみの減量化が大きな課題である。市民の協力が不可欠であることから、施設見学の機会の拡充や分かりやすいごみ分別表の作成、食材を「使い切る」「食べきる」「生ごみの水を切る」という「3キリ運動」の推進、ならびに具体的な取組とその効果を分かりやすく示す等、市民一人一人が自分事として行動変容につながるよ

その他の質問項目
・塩竈市国民健康保険事業は
・市内公共施設の再配置は

う、効果的かつ実効性のある周知・啓発に努められたい。

○近年の地球温暖化に伴う酷暑は、ごみ処理現場の労働環境に深刻な影響を与えている。

特に屋外や高温環境での作業に従事する職員の安全・衛生の確保と健康管理に、より一層の配慮をされたい。

○宮城東部衛生処理組合への加入を進めるに当たり、今後、さまざまな課題の顕在化が見込まれる。課題が明らかになった際は、都度、市民および議会に対し丁寧の説明し、適切に情報共有をされたい。

産業建設常任委員会 所管事務調査中間報告

産業建設常任委員長から塩釜港旅客ターミナル施設（マリングート塩釜）の現状および、本年度に実施が予定されている「塩釜港旅客ターミナル施設ブランドディング事業」について、所管事務調査中間報告が行われました。

調査は、市から提出を受けた資料により説明を受け、質疑が行われました。現状と課題点について議論した結果、塩釜港旅客ターミナル施設については、今後も推移を注視する必要があることから、改

選後の産業建設常任委員会でも引き続き調査を実施すべきとし、中間報告として、次の6

点の意見要望が出されました。

○再活性化基本構想を契機として、指定管理者に求められる能力を見直し、明確な選定基準を設定されたい。

○旅客ターミナル機能とテナント充実度は、独立した課題として整理し、ブランドディング事業実施に当たっては地域ニーズの徹底的な調査を行い、その結果に基づくコンセプト再構築を図られたい。

○公共投資の合理性を踏まえ、市による部分的な指定管理料支出の検討等、柔軟で戦略的な指定管理の仕様を設計されたい。

○観光船にとどまらず、松島町との交流・連携を一層強化し、塩竈市と松島町の双方に利益をもたらす仕組みの構築を検討されたい。

○自動車による来訪者の利便性向上のため、国道45号下り車線からのアクセス改善を検討されたい。

○普段使いに親しめる施設を実現するため、市内外の親子連れ来館者をターゲットとし、それに見合う入居事業者の誘致に努められたい。

一般会議とは

一般会議とは、市政の諸課題に柔軟に対処するため、市政全般にわたって議員と市民の皆さんとが自由に情報や意見を交換することができる会議です。

一般会議は次の場合に開催します。

①市内で活動している構成員5名以上の団体から申し込みがあった場合。

②議員から開催の申し出があった場合。

★いずれの場合も、議会運営委員会に開催を諮り、必要と認める場合に開催します。

★開催を希望される日のおおむね30日前までに申込書を提出していただきます。

★議題は①市議会に関すること②市政に関すること③その他市の重要事項に関することが対象です。

開催が決定した場合、1時間〜2時間程度で、団体の皆さんと議員が意見や情報交換をさせていただきます。

※宗教、政治および公益を害する恐れのある活動を目的とした団体等を除く

議会ワンポイント

請願制度とは

請願制度は、市民の要望について議会を通じて市政や国へ届ける仕組みです。道路や公園の整備、教育・福祉の充実、防災対策等を市に要望することや、議会が国へ「意見書」を提出することについて要望する等、暮らしに関わる幅広いテーマを対象にすることができま

す。

提出された請願は議会事務局で受理後、委員会趣旨や必要性を審査し、その結果を踏まえて本会議で採択の可否を決定します。採択されれば、議会は市や国に対し意見や措置等を文書で求めます。請願は個人でも団体でも提出できます。提出は随時受け付けますが、審査は翌定例会となります。請願の結果は文書で通知します。

受付や提出のご相談は議会事務局で承ります。

★請願者の情報や内容は審査の過程で公開されますのでご注意ください。

★請願には、市議会議員一名以上の紹介が必要です。

意見書とは

地方自治法(第99条)に基づく意見書制度は、地方議会が国や都道府県等の関係機関に対し、地域の実情に即した法改正や予算措置、制度運用の見直し等を求める意思を、議会の名で文書化し送付する制度です。

各自自治体の課題を広域の政策形成の場へ載せる公式ルートとして活用されています。

【対象】

医療・教育・子育て、防災減災、インフラ、エネルギー、デジタル行政等広域課題が中心です。

【手続】

議員の発議から始まり、所管委員会での審査を経て、本会議で出席議員の過半数で可決された場合に、内閣総理大臣や関係大臣、県知事等へ送付します。文案は会派横断で調整し、議会全体の総意となるように努めています。

【可決後】

議長名で内閣総理大臣や意見書の内容に関係する大臣等に発送します。

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 欠：欠席 /：議長は採決に加わりません

会 議 名	議案番号・件名		会派名・議員氏名																審 議 結 果		
			日本共産党 塩釜市議団			市民 クラブ			塩 竈 維 新 の 会	塩釜を元気に する会			公明党		かいしん						
			伊勢 由典	小高 洋	辻畑めぐみ	鈴木 悦代	鎌田 礼二	志子田吉晃	今野 恭一	桑原 成典	西村 勝男	伊藤 博章	土見 大介	柏 恵美子	浅野 敏江	小野 幸男	菅原 善幸	志賀 勝	鈴木 新一	佐藤 公男	
9 月 定 例 会	認定第1号	令和6年度塩釜市一般会計及び各特別会計決算の認定について	×	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	認 定
	認定第2号	令和6年度塩釜市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決 及び認定
	認定第3号	令和6年度塩釜市立病院事業会計決算の認定について	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	認 定
	認定第4号	令和6年度塩釜市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決 及び認定
	議案第45号	塩釜市議会議員及び塩釜市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第46号	塩釜市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	令和7年度塩釜市一般会計補正予算	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第48号	令和7年度塩釜市国民健康保険事業特別会計補正予算	×	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第49号	令和7年度塩釜市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第50号	令和7年度塩釜市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	×	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第51号	令和7年度塩釜市下水道事業会計補正予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第52号	権利の放棄について	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第53号	権利の放棄について	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第54号	教育委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	同 意
	議案第55号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	同 意
議員提出 議案第4号	刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	原案可決	

年賀状などの挨拶禁止について

公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、
答礼のための自筆によるものを除き、年賀状を
出すことが禁止されております。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。

塩竈市議会議員一同

人 事

次の人事案件に同意しま
した。

○教育委員会の委員の任命

菅 井 信 吉 氏

○固定資産評価審査委員会の
委員の選任

大 友 洋 氏

大 宮 利 一 郎 氏

渡 邊 成 美 氏

編 集 後 記

このたびの10月1日の大雨
により被害に遭われた皆様に、
心よりお見舞い申し上げます。

議会といたしましても、被

災された方々の一日も早い生

活再建を願い、救済の状況や

今後の対策について議論し、

活発に活動してまいります。

さて、議長・副議長が交代

するとともに、各委員会の顔

ぶれが一部変更となりました。

この議会だよりも新しい議

会報編集委員会のメンバー

（議会運営委員会と同じ委員）

でお届けします。

市当局から今後のごみ処理

を周辺市町との共同で行うこ

とを目指す方針が議会に対し

て正式に示されました。

しかし、仮に実現したとし

ても、10年以上は既存の施設

を修繕し使い続けなければな

りません。ごみ処理施設の維

持管理費はごみを減らせば減

らすほど少なくなります。ご

み減量化にご協力をお願い

いたします。

次回の定例会は

12月10日(水)

午後1時開会予定です